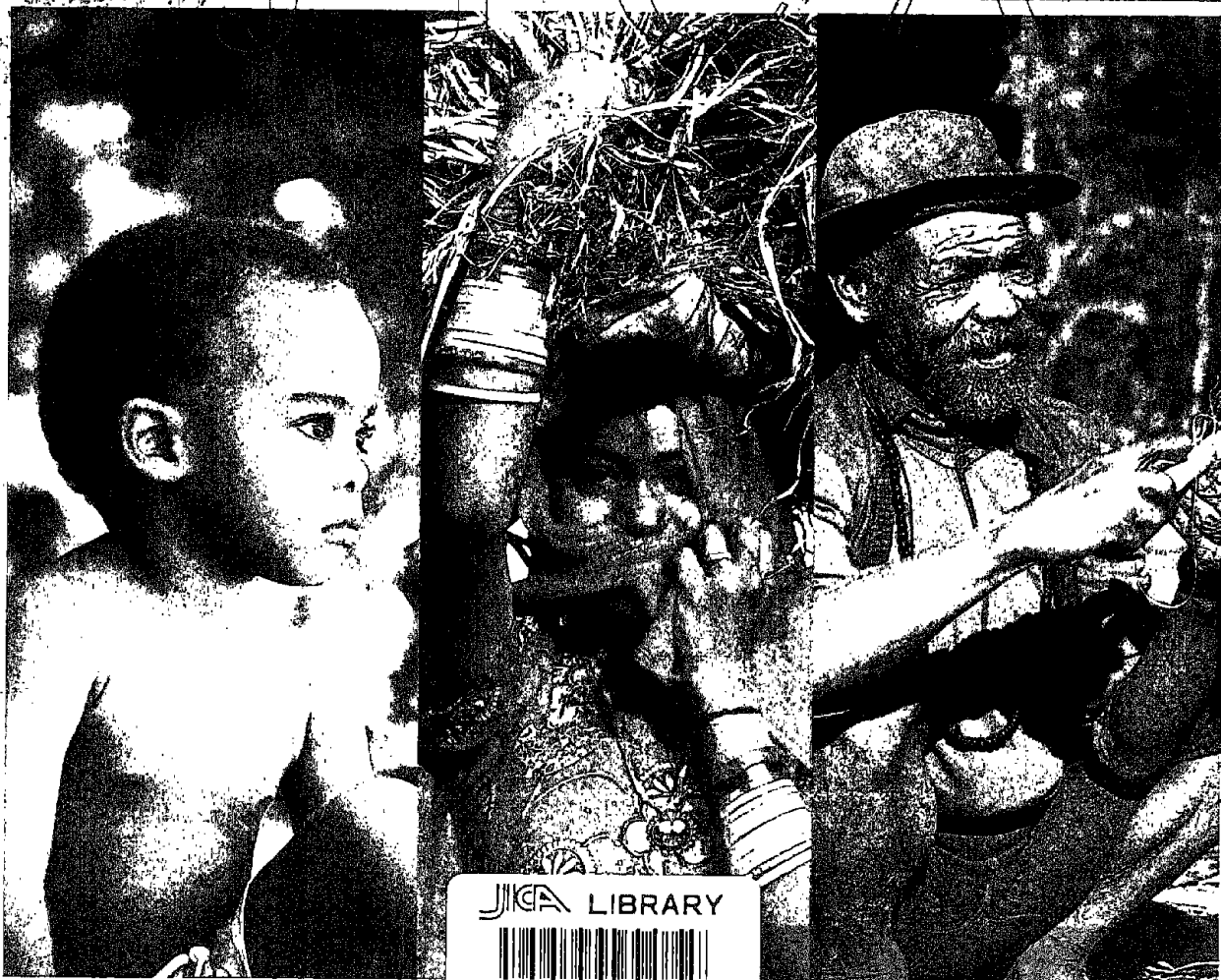


1999

Japan International Cooperation Agency



●●●【特集】

参加型協力の推進

入道り、国造り、心のふれあい

国際協力事業団

JICA 設立 25 周年

JICA本部および国内機関

[本部]

国際協力事業団

〒151-8558 東京都渋谷区代々木2-1-1

新宿メインズタワー6F～13F

TEL (03)5352-5311～5314

ホームページ…<http://www.jica.go.jp/>

・青年海外協力隊広尾訓練研修センター

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24

TEL(03)3400-7717 (代)

[国内機関]

●国際協力総合研修所

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

TEL (03)3269-2911 (代)

●北海道国際センター (札幌)

〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25

TEL (011)866-8333 (代)

●北海道国際センター (帯広)

〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2

TEL (0155)35-1210 (代)

●筑波国際センター

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6

TEL (0298)38-1111 (代)

●東京国際研修センター

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5

TEL (03)3485-7051 (代)

●八王子国際研修センター

〒192-0043 東京都八王子市暁町2-31-2

TEL (0426)26-5411 (代)

●神奈川国際水産研修センター

〒238-0316 神奈川県横須賀市長井5-25-1

TEL (0468)57-2251 (代)

●名古屋国際研修センター

〒465-0094 愛知県名古屋市中区亀の井2-73

TEL (052)702-1391 (代)

●大阪国際センター

〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25-1

TEL (0726)41-6900 (代)

●兵庫インターナショナルセンター

〒654-0076 兵庫県神戸市須磨区一ノ谷町4-5-10

TEL (078)734-5175 (代)

●中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1

TEL (0824)21-6300 (代)

●九州国際センター

〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1

TEL (093)671-6311 (代)

●沖縄国際センター

〒901-2552 沖縄県浦添市字前田1143-1

TEL (098)876-6000 (代)

●海外移住センター

〒235-0007 神奈川県横浜市磯子区西町16-5

TEL (045)751-1121 (代)

●二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2

TEL (0243)24-3200 (代)

●駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15

TEL (0265)82-6151 (代)

●東北支部

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1

仙台第一生命タワービル15F

TEL (022)223-5151 (代)

●関東支部

〒336-0002 埼玉県浦和市北浦和4-5-5

北浦和大栄ビル7F

TEL (048)834-7770 (代)

●東海支部

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-4-7

愛知県産業貿易館西館8F

TEL (052)221-7103 (代)

●北陸支部

〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-3

リファレービル3F

TEL (076)233-5931 (代)

●四国支部

〒760-0050 香川県高松市亀井町5-1

百十四ビル13F

TEL (087)833-0901 (代)

国際協力事業団年報

1999

●●●【特集】

参加型協力の推進

国際協力事業団

JICAの概要

- 1 設立 1974年8月1日
 - 2 目的 国際協力事業団法（1974年法律第62号）に基づき設立された特殊法人で、開発途上地域などの経済および社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的とする。
 - 3 資本金 1281億円（1999年3月31日現在）
 - 4 予算 1855億円（1999年度）
 - 5 役職員数 1218人（1999年度）
-
-



1162871【6】

表紙写真（すべて国際協力フォトコンテスト入賞作品）

表紙右：板倉敏彦「投網を作るおじいさん」（ネパール）

表紙中：徳川武夫「農婦」（インド）

表紙左：佐藤久子「まなざし」（ケニア）

裏表紙：竹田洋祐「人・馬交歓」（モンゴル）

本書は再生紙を使用しています。

序



本年は、国際協力事業団（JICA）が設立されてちょうど四半世紀、25年の節目の年にあたるとともに、設立以来の大規模な組織改編が実施される、いわば新生JICAスタートの年でもあります。

わが国のODAは25年前に比し約10倍に増加するなど量的にも質的にも充実し、いまや世界のリーディングドナーとして国際社会から高い評価を受けるようになりました。その中でJICAはまさしく「顔の見える」援助の中心的な担い手として、途上国の人造りに貢献してきており、これまで約5万人の専門家、2万人の青年海外協力隊員を派遣し、また17万人にもものぼる途上国からの技術研修員を受け入れてきました。この過程で途上国の方々とともに多くの汗を流してきましたが、まさにこの努力の積み重ねが現在のわが国に対するこれら諸国からの高い信頼と友情の礎になっていると信じています。またわが国が特にアジア諸国の経済発展の一翼を担っていることは疑いのない事実ですが、その中で日本の経済発展の歴史が各国の国造りのモデルとなっており、その意味でJICAがいわゆる「日本型モデル」の伝達に果たした役割は決して小さくありません。

しかしながら、国際社会に目を転じれば、アジア諸国の経済危機は依然深刻な状況にあり、またコソボ紛争等に代表されるように各地で民族紛争が勃発しております。これら激変する国際社会の中で、平和構築支援、市場経済化支援等の新たな援助ニーズが出現するとともに、環境、エイズ、貧困等という地球規模の課題の重要性は益々高ま

ってきています。

JICAはこれら激動する国際社会のニーズに的確に対応するため、現在創設以来の大規模な組織改編に取り組んでおります。私どもが目指しているものは、その国や地域の固有の問題に対して、一つずつオーダーメイドで発展の道筋をつけるために貢献することです。経済危機後のアジア諸国、市場経済化移行国等で起こっていることは、どの先進国も経験したことのない事態であります。いわば、そのような海図なき未知の大海において「国造りのナビゲーター」となること、これが21世紀のJICA像だと考えています。

本書は1998年度におけるJICAの事業実績と活動状況をまとめたものです。冒頭に「参加型協力の推進」という特集を設け、国際協力に対する幅広い市民の協力および参加を促進するためのJICAの取り組みを紹介いたしました。本書を通じJICA事業に対する皆様のご理解がさらに深まることを期待するとともに、今後とも事業の進め方等に対してご示唆、ご鞭撻を賜れば幸いです。

1999年10月

国際協力事業団
総裁

原 田 公 郎

国際協力事業団年報1999 目次

第I部 ODAとJICA事業

第1章 特集 参加型協力の推進

NGO、地方自治体、大学などとの連携の強化	10
参加型協力事業の推進	13
参加型協力事業の推進と人材の確保・育成をめざすJICAの新しい実施体制	16

第2章 JICA事業の主要な取り組み

国別・課題別アプローチの強化をめざす業務・組織改編	18
地域的重要課題への協力	
アジア経済危機への取り組み	21
アフリカ開発への支援（TICAD IIフォローアップ）	24
新たな援助ニーズへの協力	
人間の安全保障に関する国際的な協力への取り組み	27
開発の共通課題への協力	
DAC新開発戦略の重点開発課題への協力	31
草の根への支援	35
広域かつ地域的な課題への取り組み	39

第3章 わが国のODAとJICA事業概況

わが国のODAとJICA	41
1998年度JICA事業概況	48

第II部 JICA事業の地域別取り組み

第1章 アジア地域Ⅰ（東南アジアおよびインドシナ）	52
第2章 アジア地域Ⅱ（東アジアおよび南西アジア）	59
第3章 中近東地域	66
第4章 アフリカ地域	71
第5章 中米およびカリブ地域	78
第6章 南米地域	83
第7章 大洋州地域	89
第8章 ヨーロッパ地域	94
第9章 中央アジアおよびコーカサス地域	99

第III部 JICA事業の仕組み

第1章 発掘形成・計画策定

案件の発掘と形成	104
----------	-----

第2章 事業の実施

開発調査	110
プロジェクト方式技術協力	115
技術研修員受入	121
青年招へい	127
技術協力専門家派遣	130
青年海外協力隊派遣	135
無償資金協力	142
開発協力	146
災害緊急援助	150
移住者・日系人支援	153

第3章 評価・フォローアップ

評価	156
----	-----

フォローアップ	161
---------------	-----

第4章 事業実施基盤の強化

調査研究	165
技術協力専門家養成・確保	168
専門家活動の支援体制	171
情報公開と広報	174

参 考 事 業 団 の 組 織 と 予 算

国際協力事業団の沿革	180
組織と定員	181
国内機関の事業概要	184
予算	185
財務諸表	186

国際協力の進展	198年度のJICAの歩みと内外の動き	188
---------	---------------------------	-----

付 表 1998年度総括事業実績

統計を見るとき注意、JICA事業実績の概要	190
事業別経費実績	191
事業別人数実績	192
形態別・分野別人数実績	193
1998年度開発調査案件一覧	198
1998年度プロジェクト方式技術協力案件一覧	200
1998年度無償資金協力案件一覧	202
1998年度開発協力案件一覧	203

開発援助用語・JICA関連用語	204
-----------------------	-----

JICA在外事務所	208
-----------------	-----

ODAに関する情報文献(JICA作成)一覧	210
-----------------------------	-----

コラム記事

COLUMN

JICA事業の基本理念	40
ODAとは	42

Close Up

対地雷除去・被災者支援プロジェクト形成調査	109
クアラ Lumpur 歩行者空間整備計画	113
環境改善自動車燃料研究計画	120
民間提案型知的支援セミナー	130
人造りに貢献する無償資金協力事業	144
民間企業への融資におけるJICAとOECDとの連携	149
初の自衛隊部隊派遣によるJDR派遣	152
転換期の海外日系人社会	154
パラグアイ職業訓練センター第三者評価	160
法制度整備支援に関する基礎研究	165

Front Line

中小企業・裾野産業育成への支援 インドネシア	22
------------------------------	----

地下水開発・水供給訓練計画	エチオピア	25
女子教育協力	グアテマラ	32
家族計画・栄養改善・寄生虫予防総合プロジェクト	ガーナ	33
タリハ溪谷住民造林・浸食防止計画	ボリヴィア	36
家族計画WID	ジョルダン	38
家族計画・母子保健フェーズⅡ	フィリピン	54
日本・マレイシア技術学院	マレイシア	56
シードバンク計画	ミャンマー	58
母と子の健康プロジェクト	モンゴル	63
国家水害防止総指揮部指揮自動化システム	中国	64
二化性養蚕技術実用化促進計画	インド	65
プレ・リフ地方飲料水供給計画	モロッコ	69
第三国研修「母子保健における視聴覚教材によるコミュニケーション」	トルコ	70
ソコイネ農業大学地域開発センター	タンザニア	74
医療技術教育強化プロジェクト	ケニア	76
感染症対策プロジェクト	ザンビア	77
ケレタロ州中小企業支援産業技術開発センター	メキシコ	81
個別専門家「有機農法」	ドミニカ共和国	82
鉦山公害防止対策研究センター	アルゼンティン	85
カンピーナス大学臨床研究プロジェクト	ブラジル	87
東部造林普及計画	パラグアイ	88
ホニアラ中央市場整備計画	ソロモン諸島	91
森林研究計画フェーズⅡ	パプア・ニューギニア	93
経営改善、生産性向上、品質保証	ブルガリア	96
救急病院フロアスカ	ルーマニア	98
マリボル市産業廃水予備処理および水使用合理化計画	スロヴェニア	114
環境センター	チリ	119
「都市型水質汚濁検査技術」研修	北海道	123
開発金融セミナー	東京	124
NGOとの連携による参加型村落開発	大阪	126
ヴェトナム音楽を多くの人に伝えたい	神奈川	127
パプア・ニューギニア教員グループ招へい	北海道	129
養蚕振興による農村活性化	ネパール	131
中米高等警察研究所への専門家派遣	エル・サルヴァドル	133
広域水産開発アドバイザー	フィジー	134
協力隊員候補生所外活動	福島	136
ハリケーン・ミッチ被災国ニカラグアへの復興支援運動	愛知	139
保健医療隊員の活躍	象牙海岸	141
ギニア虫撲滅行動計画	ニジェール	145

図表

図表1-1	JICA組織改編と機能の強化	17
図表1-2	JICA事業をめぐる状況と取り組むべき課題	19
図表1-3	地域部の組織と業務	20
図表1-4	人間の安全保障の概念	28
図表1-5	開発福祉支援事業の実施体制	35
図表1-6	省庁別ODA予算推移(一般会計)	43

図表1-7	政府全体のODA予算額(一般会計)	43
図表1-8	経済協力と政府開発援助	44
図表1-9	わが国のODA予算とJICAの技術協力実績(DACベース)	44
図表1-10	JICA以外のODA実施機関の技術協力実績事例(1998年度)	44
図表1-11	1997年、98年のDAC諸国のODA実績	45
図表1-12	1998年のわが国のODA実績(援助形態別)	46
図表1-13	わが国のODA実績とJICA事業	48
図表1-14	JICA予算の推移	49
図表1-15	形態別人数実績の推移	49
図表1-16	地域別経費実績構成比	50
図表1-17	分野別経費実績構成比	50
図表3-1	個別技術プロジェクトの流れ	107
図表3-2	開発調査の対象分野	111
図表3-3	開発調査の手順	112
図表3-4	プロジェクト方式技術協力の流れ	117
図表3-5	研修員受入の形態と1998年度新規受入実績	125
図表3-6	地域別に見た研修員(1998年度)	126
図表3-7	分野別に見た研修員(1998年度)	126
図表3-8	青年招へいプログラム構成	128
図表3-9	青年海外協力隊派遣から帰国までの流れ	137
図表3-10	無償資金協力事業のサイクルと主要業務	143
図表3-11	開発協力事業の内容	146
図表3-12	開発協力事業の手順	147
図表3-13	投融資の貸付条件	148
図表3-14	災害緊急援助決定の仕組み(資金援助を除く)	150
図表3-15	わが国の国際緊急援助体制	151
図表3-16	プロジェクト・サイクルの流れの中の評価の位置づけ	157
図表3-17	JICAにおける事業評価の実施体制	159
図表3-18	国別援助研究の流れ	166
図表3-19	1998年度調査研究主要実績	167
図表3-20	1998年度養成研修開講コース	169
図表3-21	専門家の待遇・福利厚生制度	173
図表3-22	ホームページで閲覧可能なJICA情報一覧	175
図表4-1	1999年度機構図	182
図表4-2	国内機関(国内支部を除く)の事業概要	184
図表4-3	1999年度予算	185
図表4-4	貸借対照表	186
図表4-5	損益計算書	187

国際協力事業団年報1999資料編(CD-ROM)収録内容

研修員受入事業	無償資金協力事業	地域別・形態別・分野別人数実績
青年招へい事業	国際緊急援助隊	地域別・国別・分野別経費実績
個別専門家派遣事業	形態別・事業別・年度別総括実績	地域別・国別・予算科目別経費実績
フォローアップ協力事業	年度別・形態別実績総括	国別・形態別・分野別実績
プロジェクト方式技術協力事業	地域別・形態別実績(経費・人数)	技術協力(暦年ベース)および無償
開発調査事業	経費実績の事業別構成比	資金協力(会計年度ベース)実績
開発協力事業	形態別被援助国上位20カ国	

国際協力事業団年報の見方

- 1 この年報は、1998年度（1998年4月1日から1999年3月31日まで）の国際協力事業団の活動をまとめたものです。
- 2 収録した実績の集計は、国際協力事業団に関するものは上記会計年度を、政府開発援助（ODA）に関するものは暦年（1998年1月1日から1998年12月31日まで）を対象としています。
- 3 金額のドル表示はすべて米ドルです。
換算レートは1米ドル＝130.89円（1998年のDACの指定レート）で集計しています。
- 4 地図について
本誌に掲載しているすべての地図は略図であり、国境紛争地域、国境不明確地域などの国境線は、便宜上付したものです。
- 5 *印の用語については、巻末の「開発援助用語・JICA関連用語」のページをご参照ください。

●本文の掲載写真のうち、以下のものは国際フォトコンテストの入賞作品です

掲載頁	撮影者	タイトル	撮影国
P30	藤本好史	収穫のお手伝い	ヴェトナム
P52	THAZIN HLAING	HAPPY FACES	ミャンマー
P53	島田直実	古タイヤのゆりかご	インドネシア
P54	横山恵美子	「何飲んでんの」「水よ」	カンボディア
P55	井田公雄	港の朝	フィリピン
P57	坂東澄子	明るい少年達	ヴェトナム
P58	川端岳彦	ママ痛いよう	ミャンマー
P59	渡辺とよ子	私、いそがしいのヨウ	ネパール
P60	荒井誠一	一緒に遊びましょ	中国
P61	坂東澄子	井戸のある風景	ネパール
P62	吉崎隆	家族	パキスタン
P66	菊池孝	イミルシル花嫁祭り	モロッコ
P67	高橋なおみ	懇い	シリア
P68	横関祐見子	エジプトの母と子	エジプト
P69	笹館孝一	メチャ陽気なお菓子売り	チュニジア
P69	中村正義	ベルベルの洗濯	モロッコ
P70	道端宏政	アトラスの少女	モロッコ
P71	浦山久	みのりへの期待	ナイジェリア
P72	青谷尚一郎	さあ踊ろう！！—ダンス・ミュージックが始まり、一斉に踊ろうとする子供たち— ガーナ	
P74	片桐勝彦	食事の準備	ナイジェリア
P75	米川正子	おしゃれ	タンザニア
P76	松平隆一	笑顔	マラウイ
P77	曾屋義徳	僕も赤十字の一員だよ	ルワンダ
P79	中田浩三	ハンモックの親子	ホンデュラス
P84	片岡克夫	アンデスを越えて	ペルー
P86	中川和久	仕事前の缶夫達	ボリヴィア
P88	志村茂	いなか道にて	チリ
P91	伊川和男	眼差し	ミクロネシア
P103	唐崎恒	農道の朝	中国
P121	成瀬一男	熱処理コース実習風景	日本